

健康そうじゃ21 重点施策実施状況 (平成27年度実績・平成28年度計画)

分野	基本目標	重点施策	施策開始年限	施策	平成27年度実績(実施内容)	平成28年度計画(施策)	担当課
健康管理	一人当たりの国保医療費 全国平均以下、健康寿命延伸を目指します。	妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の強化	平成28年度末までに実施	妊娠・出産包括支援事業(新規)	産後4ヶ月までに実施する赤ちゃん訪問に合せて、産婦に対するアンケート調査を実施。116人から回答があり、妊娠中の不快症状や栄養についての相談や、兄弟の保育に対するニーズが高い傾向だった。気軽に相談できる場所作りを進めていく必要があることがわかった。	気軽に相談できる場所の確保	こども課
				要支援妊婦の訪問	妊娠届出時のアンケートから、支援が必要と思われる妊婦(31人)に対して妊婦健診結果の確認や電話連絡を行った。訪問については6回(実人員5人)と少ない状況。	継続	こども課
				こんにちは赤ちゃん訪問	4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問(こんにちは赤ちゃん訪問)し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、発育・育児状況の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供に結びつけた。また訪問を行うスタッフの質の向上と確保を図り、平成27年度は赤ちゃん訪問99.2%の実施率。要フォロー率が51%と高く、支援を必要とする家庭が増えている。	継続	こども課
				養育支援家庭訪問事業	赤ちゃん訪問後や乳幼児健診や育児相談後に、さらに個別に支援が必要な親子への訪問を継続的に行い、発育、栄養、生活環境、疾病予防などの相談に応じた。訪問等で個別に必要な親子へのサポートを継続的に行い、様々な相談に応じた。一緒に離乳食を作ったり、療育先の見学へ行くなど個別に応じた関わりをしている。また虐待対応の見守りを兼ねた訪問も増加している。	継続	こども課
				ラッコ広場(育児相談)	年12回(月1回)実施し、育児に関する適切な情報の提供や助言を行うと共に、すこやかな乳幼児の育成と保護者の育児不安の軽減に努めた。延参加人数800名。本年度9月より要観察児を対象とした少人数制の育児相談日を設け、助言・指導をより豊かにするよう努めた。	継続	こども課
				カウンセリングの実施	臨床心理士による個別カウンセリングを年12回実施した。子育ての悩みや夫婦関係等について傾聴し、希望者には継続したカウンセリングを行った。参加者延べ24人(実16人)。	継続(回数の増加を検討)	こども課
		子どもの心の健やかな発達を継続的に支援	平成26年度から実施	そうじゃ式早期一貫サポートシステム	全市スタートとなり、2年目。4歳児対象者619名(気になる子の数177名 28%)担任からのチェックシート、保護者による生活状況調査票回収率100%。今年度は新規として小児精神科専門医による発達相談を2回実施し、保護者の気づきを促し、それぞれの機関につながった。	継続 事業開始時の就学初年度を迎え、適応尺度により事業評価が必要。	こども課
				小学校・幼稚園・保育所間との地域を巻き込んだ連携強化	他機関との顔の見える関係づくりを行い、検診受診勧奨や母子保健情報の共有を行い、切れ目のない支援を行っている。特に保護者に寄り添った支援をしながら、ケース会議などを積極的に開催し、連携・協働に力を入れている。また、年度変わりには就学先に家庭での情報や母子保健情報をつなぐために学校訪問を行っている。		こども課

健康そうじゃ21 重点施策実施状況 (平成27年度実績・平成28年度計画)

分野	基本目標	重点施策	施策開始年限	施策	平成27年度実績(実施内容)	平成28年度計画(施策)	担当課
健康管理	一人当たりの健康寿命延伸を目指します。全国平均以下	子どもの心の健やかな発達を継続的に支援	平成26年度から実施	要観察児健康診査	乳幼児健診や育児相談等から経過観察が必要と思われる児を対象として小児発達の専門医による診察と臨床心理士による心理相談を実施。診察：延146人、心理相談：延34人が受診し、適切な医療や療育につながった。 健診以外にも幼稚園や保育所等の所属集団からの相談者が増加している傾向にある。	継続	こども課
				療育相談事業(総社PEC)、総合検診	早期療育の場として総社PECを年30回(2グループ)行い、延利用人数は498人であり、1歳6カ月健診や子どもの発達発達相談からの紹介が増え、登録者も増加傾向にある。 また、早期発見の場として総合検診を年5回行ない、延利用人数は43人であり、就学児の受診が増えている状況。	継続	こども課
		生活習慣病発症予防と重症化予防の推進	平成26・27年度から実施	高齢者プログラム(受診率向上)	愛育委員による全戸配布や回覧等を通して各種検診のPRを実施。そうじゃ健康マイポイントの登録事業に検診を取り込むことによって検診の受診率向上にとりくんだ。 特定健診時に過去の健診結果を用いて生活習慣病予防について保健指導を実施することで生活習慣病予防の推進と継続受診への声かけを実施。	継続	健康医療課
				国保健康で1万円キャッシュバック事業	H27支給対象世帯： 40歳未満の被保険者のみ：57世帯60名に支給。 40歳以上の被保険者がいる世帯：25世帯25名に支給。 特定健診を受診したら支給対象となる世帯に対して訪問を実施。	継続	健康医療課
				そうじゃ健康マイポイント事業	27事業を37事業に拡大し、有効ポイント数を3から5に増やして実施。 そうじゃ健康マイポイント推進団体である愛育委員・栄養委員とも協力し、SNSも定期的に利用ながら推進した。応募者数1,661人。	継続(マイナーチェンジ施行)	健康医療課
				糖尿病性腎症重症化予防事業	H27年度の参加者数は18名、3月末で保健指導は終了、データの改善等は集計中	糖尿病性腎症重症化予防事業(委託から直営実施)	健康医療課
				健診当日保健指導・結果説明会	過去の特定健診の結果をみながら、受診者に合わせた指導を実施。継続受診と生活習慣病予防について指導。結果説明毎回を年8回実施。約150名の参加。	健診当日保健指導の充実を検討	健康医療課
要指導及び要医療者訪問指導・生活習慣病予防教室	特定保健指導対象者には保健師・栄養士が訪問し、特定保健指導を紹介。生活習慣病予防教室年5回実施。約60名の参加。生活習慣病予防の推進を実施。	特定保健指導の紹介は委託とし、要指導及び要医療者訪問指導の充実を図る。	健康医療課				

健康そうじゃ21 重点施策実施状況 (平成27年度実績・平成28年度計画)

分野	基本目標	重点施策	施策開始年限	施策	平成27年度実績(実施内容)	平成28年度計画(施策)	担当課
健康管理	一人当たりの国保医療費全国平均以下	働く世代のがん死亡を減らすためのアプローチを強化	平成27年度末までに実施	妊婦や若い世代の希望者を対象としたHPV検査実施(新規)	20~41歳の女性で、医療機関検診で子宮がん検診に併用してHPV検査の受診を希望される方へ助成(2,600円) 48人実施	継続	健康医療課
				若い世代のがん検診受診率向上対策として、子どもを対象としたがん教育、子どもから親へ検診受けてねのメッセージカード配布等を検討(継続・拡大)	市内の小学校15校、638人に対して学校を通じて普及啓発用パンフレット、家族へのメッセージカード・封筒を授業で活用してもらえるよう指導案とともに配布した。	学校からのアンケートを参考に改善後、継続	健康医療課
				要精密検査者訪問指導	乳児健診を受診した母親に対して、女性のがん検診を啓発するパンフレット及びクリアファイル、ウエットティッシュを配布した。	継続	こども課
				がん検診精密検査受診結果把握事業	H27度 219件訪問実施(不在含む) 肺がん、子宮がん、乳がん、胃がん疑い者に対して訪問を実施。	継続	健康医療課
					H26度受診者に対して5月に電話連絡し、8月に通知文を送付。H26度精検受診率が全てのがん検診において精密検査受診率が上がった。精密検査対象者に対して電話連絡の旨記載した通知を渡し始めたことで、受診後の連絡が増加。	継続	健康医療課
	健康寿命延伸を目指します。	医療介護連携の強化		「総社市地域医療連携ネットワーク会議」を実施し、医療・介護・行政の連携について意見交換を行い、必要時に研修会を実施する。	5/28 11/19 2回開催 延べ57人出席 この会議で市域を越えた具体的な取り組みを検討。総社市地域医療連携協定やICTを活用しての連携についてワーキングメンバーを選定し協議の場をもつことができた。	岡山県在宅医療連携拠点事業が終了し平成28年度地域支援事業へ移行するため会議の持ち方を長寿介護課と検討していく。	健康医療課
				「総社市地域医療連携協定」により市域を越えたネットワークを強化する。	6月26日「総社市」「吉備医師会」「倉敷中央病院」「倉敷平成病院」4者の医療連携協定を締結。 7月24日「総社市」と「学校法人川崎学園」で連携協定を締結。 救急医療の適正利用の協力体制と自殺未遂者ケアサポート事業への参画、在宅医療連携講演会への講師派遣(参加者190人)		健康医療課
				ICTを活用した医療介護関係者の情報共有を推進する。	医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護師・ケアマネ・行政・晴れやかネット事務局・システム担当者でワーキングを開催。 晴れやかネットケアキャビネットきびきびの利用を開始した。現在は県の補助があり医療機関・薬局以外は無料で設置・利用できるため2月末現在90事業所・246人申請者あり。実際の患者同意も86人(2月末集計)	県の補助が地域支援事業に移行するため担当課が長寿介護課に移行。スムーズに引継ぎを行う。	健康医療課 ⇒長寿介護課へ

健康そうじゃ21 重点施策実施状況 (平成27年度実績・平成28年度計画)

分野	基本目標	重点施策	施策開始年限	施策	平成27年度実績(実施内容)	平成28年度計画(施策)	担当課
食育	365日野菜を必要量食べる人 36.5%の引き上げを目指します。	食を通じた健康づくりの推進	平成27年度末までに開始	そうじゃ!野菜365キャンペーン ・365日野菜を必要量食べる。(350g/日) ・総社産の野菜を積極的に食べる。 ・1日の目標摂取量を超える365gを摂る。	①野菜ソムリエの食育セミナー実施(参加者14人) ②のぼり旗製作及び食育スローガン募集(45点:23人) ③季節のレシピ発行(6回) ④市栄養教室(11回延べ267人) ⑤初心者料理教室(2回延べ11人) ⑥地区栄養委員会(120回延べ3,150人) ⑦男性料理クラブ等(22回295人) ⑧食育月間イベント(6月100人) ⑨健康フェスティバル(296人)	①食育スローガン普及啓発(のぼり旗及びポスター配布) ②季節のレシピ配布 ③市栄養教室 ④食育セミナー ⑤地区栄養委員会 ⑥男性料理クラブ ⑦食育月間イベント ⑧食の健康づくり講演会	健康医療課
					各種健診, 育児相談等で野菜摂取の推進を行っています。6月に実施した食育イベントでは, 野菜レシピ提供等を通じて, 野菜摂取の普及啓発をおこないました。	継続	こども課
					総社小学校にて地食への授業実施 学校給食地食へ率37%(暫定)	総社小にて地食へ授業実施予定	農林課
				そうじゃ食育ネットワーク(仮称)のための関係部署の調整(新規)	2回開催。8月9人・11月8人出席。 健康医療課・農林課・こども夢づくり課・こども課・学校教育課・総社東学校給食共同調理場(栄養教諭)で構成。	5月開催予定(6月の食育イベント等検討)	健康医療課
					食育ネットワークの一員として参加。		こども課
		子どもの頃からの規則正しい食生活習慣を確立するため、「早ね・早おき・朝ごはん」の推進		市栄養教室のライフステージ別講話で推進。 栄養委員主催のおよこの食育教室(1回39人)、およこ料理教室(17回・511人)、 チュッピー料理教室(1回55人)で推進。 アンケート結果より(277件) 朝ごはん毎日食べる94%、 週5~6回:3%、週3~4回:1%、週1~2回:1%、食べない0%:無記入1%	市栄養教室で推進 およこの食育教室で推進(1回) およこ料理教室で推進(17回)	健康医療課	
				各種健診, 育児相談等で「早ね・早起き・朝ごはん」の推進を行った。	継続	こども課	
				各学校で生活指導の一貫として行った。		学校教育課	
		共食の推進		家族揃って(家族の誰かと)一緒に食事をする日を, 毎月第3日曜日の「そうじゃ家族の日」に併せて推進(新規)	各種健診, 育児相談等で共食の推進を行っています。今年度の携帯写真コンテストに「いっしょに食べるとおいしいね(共食)」部門を設定し, 共食のPR推進をはかった。	継続	こども課
					およこ料理教室アンケート結果より(277件) 朝ごはんを家族全員で食べる29%、ひとりで食べる7%、家族のだけかと食べる64%、 その他1%	そうじゃ家族の日をPR(チラシ, ホームページ等)	健康医療課
栄養委員主催の栄養教室や男性料理教室を開催し, 共食の場を設ける。	栄養教室は120回延べ3,150人が参加。男性料理教室は10回開催され, 延べ213人が参加した。		継続。男性料理教室においても各地区の計画にあわせて実施。		健康医療課		

健康そうじゃ21 重点施策実施状況 (平成27年度実績・平成28年度計画)

分野	基本目標	重点施策	施策開始年限	施策	平成27年度実績(実施内容)	平成28年度計画(施策)	担当課
身体活動・運動	1日10%時間アップを目標としている人	身体活動量の増加の推進	平成28年度末までに開始	市内スポーツクラブ等と協働した運動情報や機会を提供できる仕組みの創設(新規)	高橋川流域圏連携事業として、「健康づくりサポートブック」を作成。主に退職者を対象に市内企業に情報提供として配布。健康医療課窓口に予備設置中。	継続 必要により、健康医療課で増刷。	健康医療課
					健康フェスティバルにて運動セミナーの開催や、吉備路アリーナの健康運動指導士・岡山県立大学人間情報工学課と協働し運動情報や運動体験できる機会を提供した。	吉備路アリーナと連携した運動セミナー実施。そうじゃ健康マイポイントとの連携も視野に入れている。	
					特になし	特になし	生涯学習課
				愛育委員・栄養委員を中心とした運動キャンペーンとして、健康増進普及月間など地域及び市役所内でラジオ体操実施や介護予防拠点施設でのロコモティブシンドロームPR活動等を検討(新規)	健康増進月間において愛育委員ブロック研修会1回・栄養委員研修会1回及び移動研修会4回において専門からの運動体験を実施。その他、愛育委員・栄養委員の各地区活動として、運動を取り入れた健康づくり事業を展開している。市役所内でのラジオ体操実施に向け企画実施。ロコモPRとして整形学会等の情報を収集中。	具体的な新規事業として検討中。	健康医療課
				ウォーキングマップ等を活用し、ウォーキングに取り組む環境を整える(継続・拡大)	高橋川流域圏連携事業として、「健康づくりサポートブック」を作成。主に退職者を対象に市内企業に情報提供として配布。健康医療課窓口に予備設置中。(再掲) 吉備の里ふれあいウォークラリーを実施した。	継続 必要により、健康医療課で増刷。 継続	健康医療課 生涯学習課
休養・こころの健康	自殺ゼロを目指します。	こころのSOSのネットワークの強化	平成27年度末までに体制整備	自殺ゼロ作戦の推進	「生きる」のリーフレットを愛育委員会・各種講演会・事業所等に配布。相談窓口の見える化を推進。支援者向けのゲートキーパー講座年1回。一般向けのゲートキーパー講座年1回実施。自殺未遂者ケアサポート事業では関係機関との連携が図れた。	継続実施 医療機関に自殺未遂者ケアサポート事業を周知する。 (吉備医師会全体に周知)	健康医療課
					総社市権利擁護センター犯罪被害者支援委員会を開催し、司法機関、医療機関、警察と情報の共有化等の連携を図った。	市民及び職員向けの研修会を開く。	福祉課
					DV被害者や自殺未遂者に対しては、要保護児童対策協議会で関係機関と情報を共有するとともに、支援方法を検討し、連携のもと支援を行った。	継続	こども課
					地域包括支援センターによる高齢者実態把握事業 725件、いきいき講座の開催 178回(2094件)。認知症サポーター養成講座の開催 46回(881人)		長寿介護課
					心の健康の保持増進と適応力づくり(一次予防) ・カウンセリング実施のお知らせ 11回/年 ・「管理職のためのメンタルヘルスセミナー」 掲示板掲載：1回 職員参加者：8人 ・「自殺予防研修会(ゲートキーパー講座)」 職員参加者：15名 ・職場外資源のメンタルヘルスに関する情報提供 掲示板掲載 1回	・ストレスチェック制度周知 ・ストレスチェック実施と産業医面接指導実施 ・カウンセリング実施周知 ・職場外資源情報提供 ・管理職のためのメンタルヘルスセミナー周知 ・カウンセリング実施 ・職員衛生委員会実施	総務課

健康そうじゃ21 重点施策実施状況 (平成27年度実績・平成28年度計画)

分野	基本目標	重点施策	施策開始年限	施策	平成27年度実績(実施内容)	平成28年度計画(施策)	担当課
休養・こころの健康	自殺ゼロを目指します。	LINCOSのネットワークの強化	平成27年度末までに体制整備	自殺ゼロ作戦の推進 ・相談窓口の「見える化」「ネットワーク化」 ・ゲートキーパー講座(市民・職域・職員対象) ・自殺未遂者ケアサポート事業 ・産後ケア制度、産後ヘルパー制度の導入を検討 ・不登校、ひきこもり児童、犯罪被害者、DV被害者に対する関係機関の連携強化	心の不健康への気づきと早期対応(二次予防) ・メンタルヘルスカウンセリング 11回実施/年 延23人利用(2月現在) ・総社市職員衛生委員会開催 4回/年 ・対象職員個別面談 延55人 ・所属上司による面談・調整 延23件 ・病院紹介 3件 ・主治医面談 延6件 ・主治医連絡調整 延4件 ・長時間時間外労働の把握と当該所属課長と総務課長との面談 延30件 心の不健康からの回復と職場復帰、再発防止(三次予防) ・復職プログラム実施 3件 ・対象職員家庭訪問 延5件 ・対象職員家族面談 延9件 ・産業医面談 延5件 ・産業医連絡調整 延2件	・個別面談実施 ・所属上司面談実施 ・主治医面談実施 ・産業医面談実施 ・長時間労働把握と所属長面談 ・復職プログラム作成と実施・家庭訪問 ・家族支援	総務課
					特になし。	窓口対応中等、お客様から自殺を連想させる発言があった場合、自殺対策関係機関等への報告・相談など、早急に対応する。	税務課
					警察署、女性相談所、関係市町村等への連携を密にし、DV被害者への支援が切れ間ないように行えるようにした。	H27年度同様に継続予定である。	市民課
					犯罪被害者とその家族が一日でも早く平穏な日常生活ができるよう、人権・まちづくり課が総合相談窓口となり、行政、警察、医療機関、民間支援団体等と連携して支援を行った。	引き続き実施する。	人権・まちづくり課
					必要に応じて健康医療課へ情報提供	継続実施	警防課

健康そうじゃ21 重点施策実施状況 (平成27年度実績・平成28年度計画)

分野	基本目標	重点施策	施策開始年限	施策	平成27年度実績(実施内容)	平成28年度計画(施策)	担当課
休養・こころの健康	自殺ゼロを目指します。	ネットワークのSOSの強化	平成27年度末までに体制整備	庁内・関係機関・学校・地域との連携による自殺対策連絡会議・本部会議	自殺対策連絡会議を開催し、庁内の連携を図った。自殺対策本部会議は実施せず。	継続実施 ケース検討会により関係者のスキルアップを図るとともに、市の連携強化と意識付けのために自殺対策連絡会を開催	健康医療課
飲酒・たばこ	妊娠中の飲酒・喫煙0%、アルコールで健康を害する人の減少を目指します。	飲酒・喫煙が妊婦や子どもにも与える影響についての正しい知識の普及	平成27年度末までに実施	妊婦面接時の指導(継続・強化)	妊娠届出時のアンケート調査により、妊婦の喫煙状況を把握し、妊娠中の喫煙が胎児に与える影響について説明し、禁煙を勧めた。	継続	こども課
				禁煙紙芝居の活用	実施なし	親子クラブやつどいの広場等での活用	こども課
					なし	検討中	健康医療課
				そうじゃノンスモーキングプログラム	平成27年3月に宝福寺周辺を「受動喫煙防止モデル区域」と指定。 禁煙外来治療費の助成 17件(H27.4月からH28.2月末) 公用車内の全面禁煙 市役所(本庁)の喫煙場所は喫煙室のみとし、完全分煙を実施。	禁煙外来治療費の助成	健康医療課
		企業と連携しての講演会	企業にちらしを配布。 禁煙支援講演会の開催。講演会「禁煙支援講演会」、講師：佐藤医院 佐藤涼介先生	実施予定なし	健康医療課		
		多量飲酒者減少への積極的アプローチ	平成28年度までに構築	地域医療連携ネットワーク会議や自殺対策本部会議を通して連携(新規)	自殺対策連絡会議を開催し、庁内の連携を図った。自殺対策本部会議は実施せず。	検討中	健康医療課
特定健診受診者全員に適正飲酒量指導(新規)	特定健診受診者に適正飲酒パンフレットを配布し、適正飲酒についての指導をした。			継続	健康医療課		
断酒外来の情報提供(新規)	多量飲酒者等には断酒会のチラシを配布。断酒会についてPRを実施			継続	健康医療課		
歯と口腔の健康	歯科定期検診を受診している人指5%以上を目指す。	受診の推進	平成26年度から実施	歯周疾患検診の対象年齢・実施機関拡大	受診可能医療機関を拡大し、市内医療機関24箇所で実施 20~70歳の人を対象に実施 165人受診	継続	健康医療課

健康そうじゃ21 重点施策実施状況 (平成27年度実績・平成28年度計画)

分野	基本目標	重点施策	施策開始年限	施策	平成27年度実績(実施内容)	平成28年度計画(施策)	担当課			
地域で支え合う健康づくり	地域における活動参加者 全体で85%以上を目指します。	安心して子育てが行える 地域の支援体制づくり	平成28年度末までに強化	産前・産後サポート事業(新規)	生後4ヶ月時に実施する赤ちゃん訪問に合せて、産婦に対するアンケート調査を実施し、兄弟の保育や送迎等についてのニーズが高いことがわかった。既存の保育サポート等の活用について検討したが、実施には至らなかった。	実施に向けて検討	こども課			
				子育て支援者を養成する講座	保育サポーター養成講座に保健師、栄養士等が講師として参加した。	継続	こども課			
				NPO等による子育て拠点施設の運営	親子の交流や子育ての相談場所として、なかよし広場こっこ、なかよし広場びよこっこ、チュッピー広場、ちびっこ広場の4箇所で開催し、延利用組数は14,559組(2月末現在)であった。窓口、乳幼児健診、ホームページ等でのPRにより、利用者は増加傾向にある。	継続	こども課			
				親子クラブ等の組織育成支援	市内17の親子クラブの会員と協働しながら、世代間交流、家庭養育活動、事故防止活動など地域に即した活動の充実を図るとともに、活動の支援を行います。また、親子クラブ間のネットワークも充実させていきます。	継続	こども課			
				ファミリーサポート事業	子育ての手伝いが必要なお子、定期的或いは一時的に子どもの預かり・送迎が必要なお子に利用できる保育サービスを委託事業にて実施した。 依頼会員733人、提供会員72人、延べコーディネート件数6,629件(何れもH28.2末時点)。	継続 ひとり親・生活困窮世帯への利用支援、障がい児等の利用に向けた推進事業を新規実施。	こども課			
				地域子育て支援センター事業	親子の交流や子育ての相談場所として、中央保育所、ひかり保育園、第二ひかり保育園、すみれ保育園、山手保育園、太陽保育園の6ヶ所で開催した。窓口、ホームページ等でPR活動を行い、利用者増に努めた。	継続	こども夢づくり課			
	地域包括ケアシステムの構築	地域包括ケアシステムの構築	地域	多様な主体の参画による協議体を設置(新規)	地域包括ケア会議、圏域地域包括ケア会議において、総社市の協議体設置生活支援コーディネーターの配置等について協議を重ね、意識統一を図った。高齢者の居場所としては、百歳体操の会場が5会場増え、133会場となった。生活支援サポーター養成講座(第1回目)を開催し、44名のサポーターを養成した。	協議体設置の開始 継続	長寿介護課			
				住民主体による高齢者の居場所を増やす(継続・拡大)						
				生活支援サポーターを養成(新規)						
				安心				キャラバン・メイトによる認知症サポーター養成講座を46回開催、881人のサポーターを養成。 認知症カフェは、中央部北圏域に1箇所、中央部南圏域に1箇所増設し、合計3箇所となった。 そうじゃみんなどで見守るネットワークの協定は「天満屋ストア(とくし丸)」と締結し、合計58事業所となった。 担当部署に引継ぎ、報告書を作成した。	継続	長寿介護課
				認知症サポーターの養成(継続・拡大)						
				各圏域に認知症カフェを開設(継続・拡大)						
そうじゃみんなどで見守るネットワーク	平成27年度と同じ	福祉課								
健康	いきいき百歳体操の参加者は、64名増え(会場は5会場数は増加)、約1,989人となった。 「いきいき百歳体操大交流大会」を開催し、参加者約600人が集い、交流の輪を広げた。	継続	長寿介護課							
高齢者の高血圧の有病率35%以下を目指す。										
かかりつけ医を持つ高齢者を85%以上にする。										
いきいき百歳体操の参加者の拡大										